

2 校訓「まごころ」



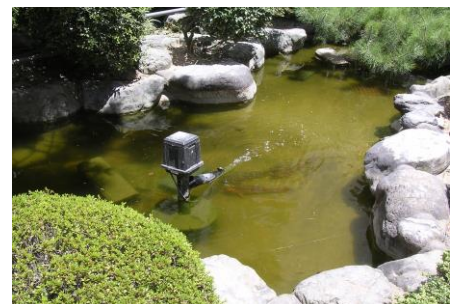
校長室と職員室前にある「まごころ」の額

宮前小学校では、昭和44年7月1日に校訓（目標として掲げる言葉）として第32代校長先生の山田哲先生が「まごころ」を決めている。この日に第1回目の「まごころの日」を実施した。当時は、「まごころ日記」「まごころ作文」「まごころ箱」などで一日一善を目指し、善行表彰を行うなどして成果をあげていたようである。

現在でも、「まごころの日」を中心に、善行を習慣化できるよう努力している。また、「まごころポスト」や月1回の「まごころ振り返りカード」で友だちと一緒に生活を振り返る活動も続けている。

「まごころ」のある行いとはどういうことだろう。一人一人の心の中にある「まごころ」を引き出し、行動に表すことは簡単なことではない。まずは、家族・友だち・先生・地域の方などを大切に思う気持ち（おもいやりや優しさ）を育てていくことが大切だ。でも、気持ちは自分で思っているだけでは、相手には伝わらない。そこで、言葉や表情など、体全体を使って伝えることから始めよう。そうすると、相手にもみなさんの「まごころ」が伝わることだろう。それが、「まごころ」のある行いである。

校内にも「まごころ」に関する様々な物が残されている。「まごころ池」は昭和47年10月に作られ、昭和58年度の北校舎建築にともない現在の場所に移転された。池の形はよく見ると「心」という文字にも見える。みなさんの澄み切った心を写しているようだ。また、校長室と職員室前には大内範（畔）氏の書による「まごころ」の額がある。これらには、「まごころ」が一杯の宮前小の子どもに育ってほしいという、家族・地域・学



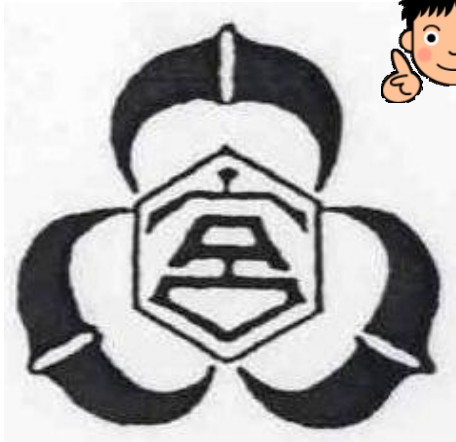
まごころ池

校の強い願いが込められている。

3 校章

学問の神様で名高い菅原道真公が宮前の地に1か月余り滞在していたことにちなみ、梅の花を外側に配し、校名の「宮」を正六角形で囲み、図案化したものとみられている。梅の花を3枚にまとめてあるのには、昭和13年（1938年）に合併したことを記念して、三津浜町の宮前の須先、西須賀、中須賀の3地域を表したという説がある。

<校章 昭和37年制定>



まん中は、宮前の「宮」という字だね。外側は、梅の花の花びらの形になっているよ。

菅原道真(845~903)
 曾祖父から続いた学者の家に生まれ、幼いころからすぐれた文才を示した。宇多・醍醐天皇に見いだされて文章博士から右大臣に抜擢され政治を進める立場に立った。

菅原道真と梅の花の関係とは？

菅原道真は、すぐれた学者で、政治家としても活躍したが、出世をねたんだ藤原氏がうその告げ口をしたために、九州の太宰府へ追いやられることになった。「東風吹かばにほひおこせよ梅の花 主なしとて春な忘れそ」道真が都をたつとき、自宅の梅を見て、「梅の花よ、東の風がふいたら九州までかおりをとどけておくれ。たとえ、主人がいなくても春をわすれてはいけない。」という歌を詠みました。すると、これに感動した梅の木は一夜のうちに九州の道真のもとに飛んでいったといわれている。(飛梅伝説)

「宮前」という地名の由来は？

現在厳島神社は、三津地区にあるが、川屋畑の戦いで焼失するまでは古三津地区にあった。そのことから、「お宮の前のまち」という意味の「宮前」という地名ができたと思われる。菅原道真公が1か月余り滞在したのは、古三津地区にあった厳島神社である。

4 校歌

校歌が生まれるまで



校歌を通して、自分が育った地域を愛する心や先人を敬う気持ちを持ち、「まごころ」をもって生きることの大切さを学ぼう。校歌は人生の中で、忘れることのできない曲になるよ。

宮前小学校には、昭和22年(1947年)に現在の校名に改称されて以来ずっと校歌がなく、校歌作成を思い立ったのは昭和40年(1965年)、完成は昭和42年1月であった。

作詞をされた塩穴龍三先生は、「全体として、たくましく伸びていく姿を表しました。努めてわかりやすいことばを用いました。」と語られている。

作曲をされた河野博先生は、校区に住んでおられ、学校のそばを通して子どもたちが元気に校歌を歌っているのを聞くと、「とてもうれしいです。」と話されていたそうだ。

<p>三 ひろがる松山 大空に 高く栄える 宮前の 日々の仕事を たたえるような 強く大きい ほこりをもって みんな仲よく 助け合う よい子 よい子 宮前小学校</p>	<p>二 瀬戸の海辺の かなたから 運んでくれる 潮の風 岩打つ波と たたかうような 強い心と からだをつくり いつも明るく はげみ合う よい子 よい子 宮前小学校</p>	<p>一 遠い昔の おもかげを 今に残した 丘と池 みどりの草の もえてるような 強く大きい 望みをだいて きょうも正しく 学び合う よい子 よい子 宮前小学校</p>	<p>宮前小学校校歌 作詞 塩穴龍三 作曲 河野博</p>
--	--	--	---------------------------------------

歌詞はどんなことを表しているのかな？

- 1番 田園風景の中に昔の人々の生きた姿を感じながら、緑の草のように日々伸びていく子どもたちの、たくましい望み、学び合う賢さを表現している。
- 2番 江戸時代、遠く九州まで鯨を捕りに行った祖先のたくましさを伝え、強くたくましい体をつくること、明るく励み合う努力の大切さを歌っている。
- 3番 愛する郷土の発展のための人々の努力を理解し、地域と自分への誇りと自信をもって、協力し助け合って生きることの大切さを説いている。

5 宮前小学校に昔からあるもの

① **熟田津の碑**
 「熟田津に船乗りせむと月待てば
 潮もかなひぬ今は漕ぎ出でな」
 額田王

661年(飛鳥時代)額田王が百済に向かう途中、伊予に立ち寄った際に詠んだ歌である。宮前小学校校庭の歌碑は、昭和40年(1965年)にPTAの方々が建てたものである。



熟田津は古三津地域のことだという説があるよ。



額田王ってどんな人？



額田王は、天武天皇の妃で、斉明朝以降(655年以降)に奈良県または島根県に生まれたとされる皇族の女性です。そして、日本の代表的な歌人でもあります。恋と歌に生きた、ともいわれています。

② **宮前小学校の二宮尊徳像**

宮前小学校の講堂が昭和7年(1932年)に新築され、昭和9年(1934年)9月3日に講堂南前に二宮尊徳像が建立され、除幕式が行われている。昭和45年(1970年)に講堂が取り壊され、昭和45年本館が落成し、昭和46年6月24日に現在の正門の東に移されたものと思われる。



二宮尊徳ってどんな人？

尊徳は、天明7年(1787年)に現在の神奈川県で生まれました。幼いころ「金次郎」という名前でした。母と二人の弟をかかえた金次郎は、夜も昼も身を粉にして働かねばならなかったのです。でも、貧しくても、道を歩きながら本を離さず学問を続けた努力家でした。

成人した金次郎は荒地の開拓に力を注ぎ人々に節約を勧めました。貧しい農村を救うことに一生をかけた人物です。

③ ^{しか} ^{ぞう}
鹿の象

^{むかしまつやまし} ^{しよくぎやうがっこう}
昔松山市にあった「職業学校」とい
^{がっこう} ^{そつぎやうせいさく} ^{さくひん} ^{おく}
う学校から卒業制作の作品として贈ら
^{しろ} ^{しか} ^{ぞう}
れたのが、この白い鹿の像である。
^{ねんだい} ^{ふめい}
年代については不明である。



④ ^{しょうねん} ^{しょうじょ} ^{ぞう}
少年(と少女)の像

いつ、どのようにして建てられたかは分
^{もともと} ^{しょうねん} ^{しょうじょ} ^{ぞう}
からないが、元々は少年と少女の像がペ
^た ^{おも}
アで建てられていたと思われる。なぜか
^{しょうじょ} ^{ぞう} ^{ほう} ^{だい} ^{した} ^{しゃしん}
少女の像の方は台のみ(下の写真)にな
^{げんざい} ^{しゃしん} ^{ぞう} ^{のこ}
っていて、現在は少年の像だけが残ってい
^{みやまえしょうがっこう} ^{ななふしぎ}
る。このことは宮前小学校の七不思議の
^{ひと}
一つともいわれている。



ここに紹介した石碑や
^{せきぞう} ^{みやまえしょうがっこう}
石像は、宮前小学校のどこ
にあるのかな？さがしてみ
よう！

